

わが国と宮城県の結核
現状と今後の対策

2019
秋号
Vol.10

information

- インフルエンザ予防接種のご案内
- 肺炎球菌ワクチン接種のご案内
- 風しん抗体検査・予防接種のご案内
- 禁煙外来
- 医師・保健師等の派遣
- 結核・胸部疾患等に関する無料相談のご案内
- 第70回全国大会 決議・宣言
- 宮城県知事表敬訪問
- 結核予防週間
- 結核予防街頭キャンペーン
- 結核予防・COPD パネル展
- 複十字シール運動
- 定例勉強会実施報告

公益財団法人宮城県結核予防会 広報誌

よぼう



複十字シール運動キャラクター
シールほうやとシールちゃん

発行 公益財団法人 宮城県結核予防会
〒989-3203 仙台市青葉区中山吉成2丁目3番1号
TEL.022-719-5161 FAX.022-719-5166



わが国と宮城県の結核

～現状と今後の対策～



公益財団法人
宮城県結核予防会 理事長 渡辺 彰

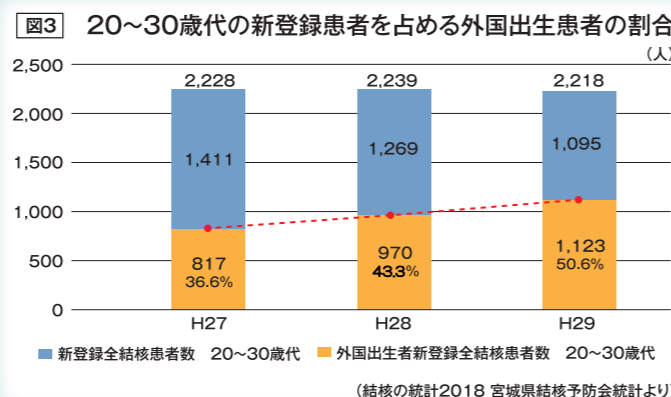
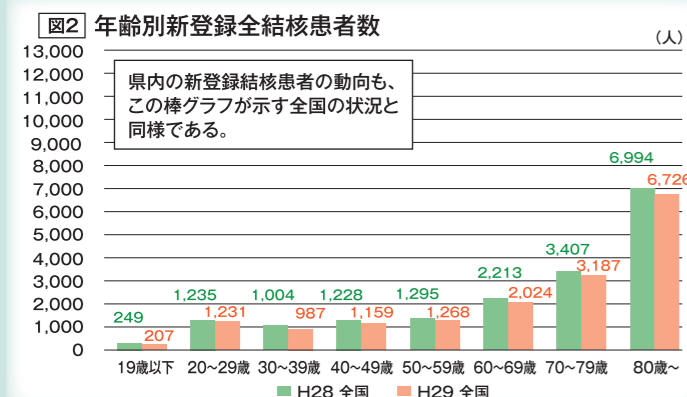
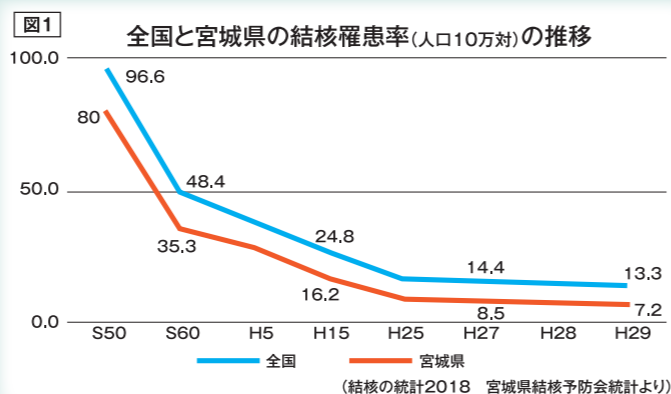
結核はいつからあるのか？ 結核菌はどのような菌か？

結核を起こす結核菌は、広く抗酸菌と言われるグループに属します。抗酸菌という名前は、結核菌を顕微鏡で見つけるときの染色に使うアニン色素(石炭酸・フクシン)でいったん染まると、酸やアルコールによって色が落ちにくいという性質から名づけられています。ところで、結核菌と結核は、いずれも新しい菌、新しい病気とも言われています。

人類の先祖が約700万年前に出現したのに対し、結核菌はおよそ3万5千年前にアフリカ北東部もしくはメソポタミア地方において自然界の抗酸菌の仲間から突然変異で出現したといわれています。他の抗酸菌はヒトからヒトへは感染しませんが、結核菌は突然変異でヒト-ヒト感染の能力を獲得しました。とはいつても、もっと古くから人類を苦しめていたであろうインフルエンザや麻疹(はしか)などと比べると感染の効率は低く、結核菌にさらされても感染が成立するのは半数以下であり、さらに、発病に至るのはその1/10なので、最初に結核菌にさらされた人が100名いても数名しか発病しません。ただ、結核菌はヒトの免疫システムを巧妙にかいくぐり、感染が成立してもすぐには発病しないことも多く、特に高齢社会に突入したわが国では、若い時に感染・定着して体内に潜んでいた結核菌(この状態を潜在性結核と言います)が高齢になってから、いろいろな条件で発病に至ることが多くなっています。

高齢者の結核の実態と特徴

わが国の結核罹患率(人口10万の集団から1年間に新たに発病する結核患者の数)は近年、順調に低下して2017年には13.3まで改善しています。昭和30年(1955年)前後は国全体で一年に50万人以上発生していた結核患者が、2017年には16,789人にまで減ったのです。特に宮城県では、罹患率が7.2と全国の都道府県の中で最も低い罹患率を実現しました(図1)。喜ばしいことですが、問題もあるのです。宮城県だけでなくわが国全体の結核発病は高齢者が多くを占めるようになり、60歳以上が7割以上を占めていますが、80歳以上だけでも4割を超え、その罹患率は60を超えています(図2)。高齢者の中には、過去のわが国が結核高蔓延だった時代に結核菌に感染した人がかなりいて、その時は発病を免れても高齢になるほど種々の基礎疾患・合併症を抱えることによって体力・抵抗力が低下し、結核を発病しやすくなります。免疫の力も低下し始めますが、その免疫をさらに抑えるような薬剤の投与を必要とするような病気もありますから、高齢になってからの発病が多くなるのです。20~30歳代の若年層における外国生まれの方に結核発病が多いことと並んで(図3)、わが国の結核対策上の大きな問題の一つになっています。



高齢者結核をどう防ぐか？

高齢者の中でも、高齢者施設に居住する方々や通所介護を受けておられる方々は特に結核に注意する必要があります。施設で結核が発生すると周囲への感染伝播が起こることがあるからです。国は昨年以来、その対策を強化しています。具体的には、定期健診の強化、高齢者施設・介護サービス利用者への健診の受診勧奨の強化ですが、国の感染症法に基づいて市町村が65歳以上の住民を対象に実施する定期健康診断においては、80歳以上の高齢者に特に重点を置いて実施するよう自治体に周知しています。併せて、80歳以上の高齢者の同居者や当該高齢者に頻繁に接する者(通所介護等の事業所、施設の職員等)へも周知するようにしています。

高齢者お一人お一人が定期健診を確実に受診するとともに、日常生活の中で咳や痰、微熱、倦怠感などが2週間以上続く場合には医療機関を受診するよう気をつけたいものです。いつもとちょっと違う、いつもの風邪より治りが遅い、次第にだるくなる、などといった兆候に気をつけましょう。

結核予防全国大会の決議・宣言

宮城県結核予防会は全国の結核予防会の一組織として、毎年開催される結核予防大会に参加しています。2018年度は第70回記念大会として2019年2月に東京で開催され、結核予防会総裁の秋篠宮妃殿下ご臨席の下、次の決議・宣言が採択されました。高齢者と外国出生者に焦点を合わせていますが、要約して箇条書きでお示しいたします。

- 結核患者の約4割を占める80歳以上の結核患者の早期発見、20歳代の結核患者の6割を占める外国出生者対策が重要な課題
- 今後もグローバル化の進展や外国人就労拡大に伴う外国出生の結核患者がますます増えることが予想される
- 高齢者及び外国出生者の結核患者を早期発見し治療完了するための取り組み及び感染拡大防止や潜在性結核感染症などについての対策
- 高蔓延国からわが国への長期滞在申請を行う者について、入国前健康診査を行うなど外国出生者に係る結核対策の強化

宮城県結核予防会の役割

宮城県結核予防会は、前記のような使命を帯びながら結核健診を主な柱としつつ、肺がん検診、循環器健診、最近では糖尿病などの生活習慣病やCOPD(慢性閉そく性肺疾患)への取り組みなども行っています。また、特定保健指導や栄養指導を行うと共に、近い将来には海外渡航者などを含めて広く感染症を予防する種々のワクチンを接種する予防注射外来の開設を計画しており、さらには感染症・結核を中心とする呼吸器病学の研究および心臓病を中心とする循環器病学の研究に打ち込んでいる若手研究者を顕彰する学術奨励賞の創設を計画しています。もちろん、県民を対象にその健康増進について啓発する事業も重要であり、昨年度は、これまで掲げていた理念をさらに深化させて次のような宣言をいたしました。皆様のご理解を賜りたいと思います。

理念

「一人ひとりの健康を創り出すため最善を尽くします」

私たちは受診者の皆様の人権を尊重し職務を遂行します
私たちは知識の習得と技術の向上に取り組み健診の質を高めます
私たちは誠実で正確な健診と医療を目指します



インフルエンザ予防接種のご案内

インフルエンザワクチンの予防接種には、発症をある程度抑える効果や、重症化を予防する効果があります。特に高齢者や基礎疾患のある方など、罹患すると重症化する可能性が高い方におすすめています。

接種開始日 令和元年11月1日(金)～予定

接種対象年齢 16歳以上

高齢者等予防接種費用の助成について

各市町村では、高齢者のインフルエンザ予防接種費用の一部を助成しています。詳しくは、お住まいの市町村にお問い合わせください。



肺炎球菌ワクチン接種のご案内

高齢者の肺炎の原因で最も多く、重症化しやすいものが肺炎球菌です。重症化しないためにも、65歳を過ぎた方には肺炎球菌ワクチン接種による予防をおすすめします。予約制となりますので、お電話または外来窓口でご相談ください。

接種対象者 高齢者(65歳以上)の方

接種期間 肺炎球菌ワクチン接種は通年、受付けています。インフルエンザワクチン接種と併用する場合は、最低1週間以上の間隔をあけて接種します。

効果持続期間 個人差がありますが、通常1回の接種で約5年ほど免疫が持続するといわれています。

(注)肺炎球菌ワクチン接種は、5年以上の間隔をあけないと再接種(2回目の接種)ができません。

風しん抗体検査・予防接種を無料で受けられます

風しんの予防接種は、現在、予防接種法に基づき公的に行われています。しかし、公的な接種を受ける機会のなかった昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性は、抗体保有率が他の世代に比べて低くなっています(約80%)。対象の方には、市町村よりクーポン券が届きます。まず、クーポン券を利用し抗体検査を受けていただき、抗体検査の結果、十分な量の抗体がない方が、予防接種の対象となります。

接種対象者 昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性

持ち物 クーポン券・本人確認書類(免許証、マイナンバーカード等)

受診期間 2022年3月31日まで

定期健康診断受診の際に風しん抗体検査が受けられます

職場での定期健康診断受診時に、市区町村発行のクーポン券をお持ちいただき、風しん抗体検査を受けることができます。



ご希望の方は当法人までお電話でお問い合わせください

[複十字健診センター] TEL.022-719-5161 [健康相談所 興生館] TEL.022-221-4461

禁煙外来

当法人では禁煙を希望し、一定の要件を満たした方に、保険適用による飲み薬、または貼り薬を使用した禁煙治療を行っています。完全予約制となっております。まずはお気軽にご相談ください。

[複十字健診センター]

毎週 水・金曜日

14:30～15:00

TEL.022-719-5161 内線(205)

[健康相談所 興生館]

毎週 月・火・水・木曜日

13:00～15:00

TEL.022-221-4461 内線(107)



医師・保健師等を派遣いたします

当法人医師や保健師などによる、研修や講話などのご案内をしております。市町村、事業所、団体、学校等が実施する健康づくりのための講習会、健康教室、健康まつり、イベントに当法人スタッフを派遣し、皆様の健康づくりのお手伝いをいたします。

まずは、お電話またはメールにてお問い合わせ下さい。

研修・講話テーマ

- 結核菌のはなし
- 肺がんとその予防について
- COPD(慢性閉塞性肺疾患)について
- サルコペニア(筋力低下)予防でいつまでも元気!
- 「ロコモ」ってなに?～寝たきりにならない予防法～
- インフルエンザ予防・食中毒の予防について
- 認知症予防のためのちょっと賢い健康生活のコツ
- 健康寿命を延ばすために～生活習慣病について～
- たばこに関する保健指導 など…

結核・胸部疾患等に関するお悩み等、どなたでも無料でご相談いただけます

- ▲ セキや痰が続いて心配だ
 - ▲ 微熱が長引いている
 - ▲ たばこを止めたいが自信がない
 - ▲ COPDの治療や知識について知りたい
- など、些細なことでもご相談下さい。

ご相談は 月曜日～金曜日

午後3時～4時、下記の連絡先へお電話ください。また、面談(予約制)メール、FAX 等による相談も受付しております。

【連絡先】

[複十字健診センター 看護係]

TEL.022-719-5161 内線(205)

メール: kan@jata-miyagi.org

[健康相談所 興生館 看護係]

TEL.022-221-4461 内線(107)

メール: kokan@jata-miyagi.org

結核・胸部疾患等に関するお悩み
どなたでも無料でご相談いただけます。

お悩み

- セキや痰が続いて心配だ。
- 微熱が長引いている。
- たばこを止めたいが自信がない。
- COPDの治療や知識について知りたい。

など、ご相談は受け付けていますので、お気軽にご相談ください。

不安や悩みなど、
ご本人やご家族等、
どなたでも
ご相談ください。

相談方法

電話による相談 | 月曜日～金曜日(土、日、祝日を除く) 午後3時～4時、下記の連絡先へお電話ください。

面談による相談 | 予約制となりますので、お電話でご予約ください。

その他 | メール、FAX等でも受け付けております。

連絡先

<p>複十字健診センター 看護係</p> <p>〒989-3203 仙台市青葉区中山古成二丁目3番1号 TEL.022-719-5161 内線(205) FAX.022-719-5166 ✉: kan@jata-miyagi.org</p>	<p>健康相談所 興生館 看護係</p> <p>〒980-0004 仙台市青葉区宮町一丁目1番5号 TEL.022-221-4461 内線(107) FAX.022-221-4465 ✉: kokan@jata-miyagi.org</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

第70回全国大会 決議・宣言

平成31年2月27日・28日、第70回結核予防全国大会が東京都で開催されました。両日にわたり結核予防会総裁秋篠宮紀子妃殿下がご臨席され、28日には天皇、皇后両陛下の行幸啓を仰ぎ、大会式典が執り行われました。「結核抑圧に向けて～日本の経験と技術を世界のために～」をスローガンに、2日間で1,400名の方が参加した大会では、結核対策強化のため国及び地方公共団体、医療機関及び結核予防会、全国結核予防婦人団体連絡協議会等の関係団体が力を合わせ努力することが決議され、結核対策の実績を踏まえながら正しい知識の普及・啓発に努めることが宣言されました。



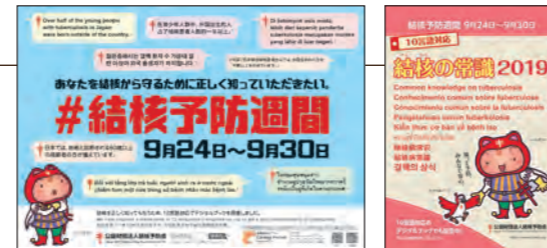
宮城県知事表敬訪問

令和元年度の複十字シール運動にあたり、結核予防会本部では厚生労働省を、全国の支部では各都道府県知事を訪問しました。宮城県では7月23日に佐野副知事に、結核の現状と複十字シール運動について報告し、本運動に対するご理解と励ましのお言葉をいただきました。



結核予防週間

毎年9月24日～30日は結核予防週間です。当法人では、結核に関する正しい知識の普及啓発、結核対策への関心を高めていただくために、宮城県内の小中高等学校や官公庁などにポスターと「結核の常識」を配布し、県内各地で様々な啓発活動を行います。



2019年結核予防週間ポスター

2019年結核の常識

結核予防街頭キャンペーン

結核に関する正しい知識と、予防の重要性についての普及啓発及び健康への関心を高めていただくことを目的として、結核予防週間に街頭キャンペーンを行います。無料肺年齢測定やパネル展示、パンフレットの配布を行いますので、お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。



開催日 令和元年9月21日(土) 時間 13:30～15:00 場所 JR仙台駅西口 ペDESTリアンデッキ

結核予防・COPDパネル展

結核予防週間に合わせて、結核やCOPDなどの胸部疾患に関する正しい知識を深めていただくため、パネル展を開催します。

開催期間 令和元年9月24日(火)～9月27日(金)
場所 宮城県庁2Fロビー



複十字シール運動 運動期間:8月1日～12月31日

治療できる病気「結核」で多くの命が失われています。結核の現在の課題解決のために、私たちの活動にご協力ください。

複十字シール運動とは

結核や肺がん・COPD（慢性閉塞性肺疾患）を含む胸部に関する疾患をなくして健康で明るい社会を作るため、これらの病気に対する知識の啓発と予防意識の高揚を図るとともに、事業資金を集める事を目的としています。

運動のはじまり

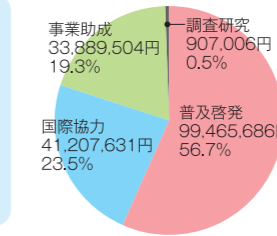
1904年にデンマークでクリスマスシールが発行され、その益金は結核に苦しむ人々のために役立てられました。これが運動のはじまりです。シールを使った募金活動は世界に広がり、現在も各国で行われています。結核予防会では1952年に最初のシールを発行しました。



結核予防会の創立80周年を記念して復刻版シールをつくりました。1952年初回発行当時の画家やデザイナーによる図案の魅力は今も色あせていません。

複十字シールには、健康を願うメッセージが込められています。

【平成30年度募金益金の使途内訳】



【平成30年度募金のご報告】

全国 201,010,308円
益金 175,469,827円
宮城県 12,108,029円



皆様からいただいた募金はこのような活動に大切につかわれていただきました。ご協力ありがとうございました。

募金は下記の銀行振込または郵便振替で受け付けております。

【口座名義】公益財団法人宮城県結核予防会
【銀行口座】七十七銀行宮町支店 普通預金 5510830
【郵便振替】02270=1=405

●宮城県の結核の現状(平成29年)●

■新たに結核になった人 167人
■結核で亡くなった人 20人

※複十字シール運動の詳細につきましては、当法人企画課までお問い合わせください。

定例の勉強会を次のとおり実施しました

当法人では、職員の知識習得と技術向上のため、毎月各種研修会・勉強会に取り組み、健診の質向上等に努めています。

- 肺結核の過去／現在／未来
- 平成29年度結核診療の統計的概要
- 最近の肺結核症例の画像所見
- 結核細菌検査等の概況について
- 非結核性抗酸菌症「難治する症例と対応」
- 最近の抗酸菌検査結果より
- 集団におけるCOPD検診の試み
- 事業所における定期健康診断結果の統計と総評
- 生活習慣と健診結果の相関について
- 結核予防会における肥満への対応
- BCG 接種の現況とコッホ現象について
- コッホ現象症例について
- 肺癌治療の進歩と現状
- 特定健診とは何か?そしてどうあるべきか?
- パニック値で受診した場合の対応、推薦すべき紹介先等を中心に

- クオアンティフェロン TB ゴールドプラスについて
- 健診における検査項目異常時の対応
血球算定検査、尿検査、等
- 採血による疼痛の対応について
(医師編)
- 健診における各検査の項目と異常値の分類について



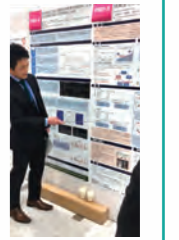
↑定例の勉強会

日本肺癌学会学術集会

テーマ～肺がん検診における精度管理～

- ◆肺がん検診における胸部X線画像の再読影によるROC曲線の算出と読影傾向の分析
- ◆肺がん検診における感度・特異度分析と振り返り支援の試み

→日本肺癌学会での様子



毎年の「肺がん検診」が あなたの命を守ります。

肺がんは、他の病気と区別がつくような特徴のある症状がほとんどありません。
特に、初期段階では無症状の場合が多く、身体に異変を感じた場合には進行が進んでいたり、
発見した時にはすでに末期だった、というケースも少なくありません。
初期の肺がんを見つけるには、検診が有効です。



公益性の高い専門機関として、健康診断から治療まで
県民の皆様の健康づくりを応援します。



公益財団法人 宮城県結核予防会
〒989-3203 仙台市青葉区中山吉成2-3-1 TEL.022-719-5161 FAX.022-719-5166

複十字健診センター

〒989-3203
仙台市青葉区中山吉成2-3-1
TEL.022-719-5161(代表) FAX.022-719-5166

健康相談所 興生館

〒980-0004
仙台市青葉区宮町1-1-5
TEL.022-221-4461 FAX.022-221-4465

宮城県結核予防会



<http://www.jata-miyagi.org>



基本理念

「一人ひとりの健康を創り出すため
最善を尽くします」

- 一、私たちは受診者の皆様の人権を尊重し職務を遂行します
- 一、私たちは知識の習得と技術の向上に取り組み健診の質を高めます
- 一、私たちは誠実で正確な健診と医療を目指します